



## 世界で際立つ大学を目指し 立教大学のグローバル化は、新しいステージへ

立教大学は、140年に及ぶリベラルアーツ教育や先進的なリーダーシップ教育など、オンリーワンの取り組みで国際化を推進してきました。2014年5月に公表した国際化戦略「Rikkyo Global 24」では、学生の海外派遣、留学生の受け入れ、外国人教員比率、欧米のリベラルアーツ大学との連携など24のプロジェクトごとに目標を設定しています。この度、この国際化戦略を基盤とした構想「グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力—世界で際立つ大学への改革—」が、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援（グローバル化牽引型）」に採択されました。その使命は、「先導的試行に挑戦し、社会のグローバル化を牽引する」こと。立教大学のグローバル化は新しいステージへと進みます。創造性と展開性とを備えた自己変革力によって改革を推進し、アジアの大学として存在感を高め、世界で際立つ大学となって国際社会に貢献していきたいと考えています。

立教大学総長 吉岡 知哉

## Striving to become a university that stands out in the world Internationalization of Rikkyo University, toward a new stage

Rikkyo University has worked to promote international advancement through its unique initiatives including advanced leadership education and liberal arts education spanning 140 years. In the “Rikkyo Global 24” internationalization strategy that was announced in May 2014, we set objectives for each of 24 projects including study abroad placements, intake of international students, proportion of foreign faculty members, and partnerships with liberal arts colleges in Europe and the USA. The concept of “Global Liberal Arts Education -Leadership Education - Self-Transformation: The Evolution of Rikkyo as a World-Class University” which is based on this internationalization strategy, was recognized by MEXT as the “Top Global University Project (Global Traction Type).” The mission is to “engage in pioneering efforts that will drive the internationalization of Japanese society.” The Internationalization of Rikkyo University is advancing to a new stage. We will strive to promote reform through self-transformation with creativity and expansibility, enhance our presence as a university located in Asia, stand out in the world and contribute to the international community.

Tomoya Yoshioka, President of Rikkyo University



立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1  
3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku,  
Tokyo 171-8501, Japan

www.rikkyo.ac.jp



立教大学 国際化戦略  
Rikkyo University Internationalization Strategy

# Rikkyo Global 24

24 Projects for 2024 <Ver.2.0>

The contents of this brochure are updated as of 2014 when the Rikkyo Global 24 Concept was announced.  
本リーフレットPDFは、構想発表当時（2014年）のものです。



立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY

# 立教大学 スーパーグローバル大学構想

Rikkyo Top Global University Conception

グローバルリベラルアーツ

リーダーシップ教育

自己変革力

— 世界で際立つ大学への改革 —

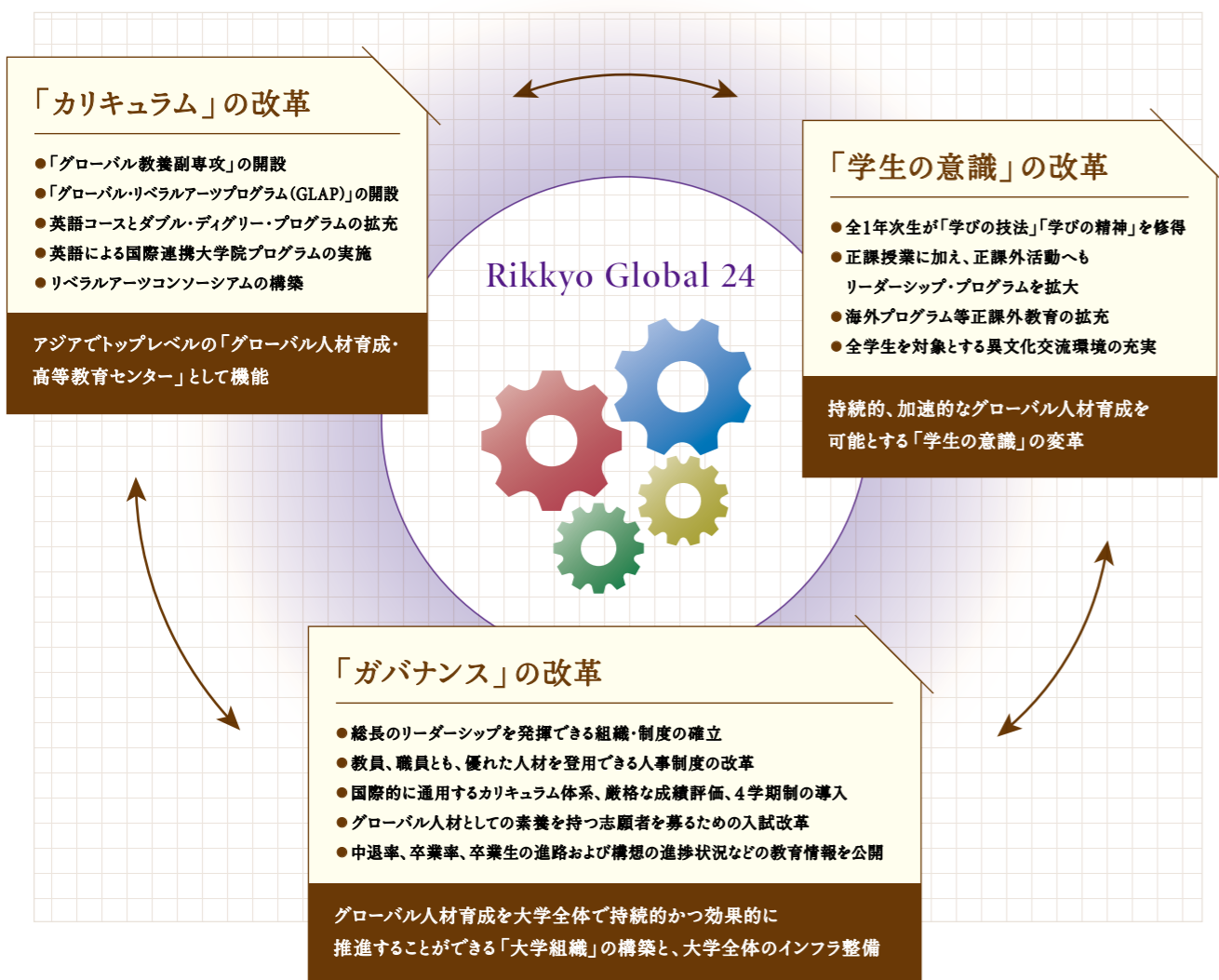
立教大学は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)」に採択されました。これは、徹底した国際化と大学改革を断行する大学を重点支援することにより、日本の大学の国際競争力を向上することを目的として、2014年度より実施されるものです。

本学は、140年以上に及ぶリベラルアーツ教育や先進的なリーダーシップ教育といったオンリーワンの取り組みをさらに高めていき、欧米のリベラルアーツ大学との対話を通じた世界水準の教育システムを構築することで、日本の大学の国際化を牽引する創造性、展開性、自己変革力のある大学を目指します。

## 1. 構想の概要

### 日本の大学の国際化を牽引する創造性、展開性、自己変革力のある大学

改革の柱となるのは、「カリキュラム」の改革、「学生の意識」の改革、「ガバナンス」の改革です。2014年5月に公表した本学の国際化戦略「Rikkyo Global 24」(P4以降に掲載)に示した24の方策を基盤として、この3つの改革を実践していきます。



## 2. 「カリキュラム」の改革の概要

### 新たな教育プログラムがスタート!

### グローバル教養副専攻とGLAPを核に、先端的なグローバル教育を実践

スーパーグローバル大学構想の核となるカリキュラム改革として、①立教大学学士課程統合カリキュラム、②グローバル教養副専攻、③グローバル・リベラルアーツプログラム(GLAP)、④「新しい」リーダーシップ教育、⑤国際連携大学院プログラムを開設します。

#### ▶ 立教大学学士課程統合カリキュラム

2016年度より、新たな教育カリキュラムをスタートさせます。これは、学生生活全体を人格形成のプロセスとして捉え、教養科目、専門科目、正課外活動を有機的に結び付けて体系化する、リベラルアーツの現代的再構築です。これにより、人間性と専門性を兼ね備えた人材を育成します。

#### ▶ グローバル教養副専攻

グローバルかつ複眼的に物事を捉える能力を養うため、10学部の全ての学生が履修可能なグローバル教養副専攻プログラムを開設します。学生は、英語による科目を中心として展開される数多くのコースの中から自らの興味・関心に応じて選択し、4年間で16単位以上を修得。各コースには短期・中期の海外体験プログラムも含まれます。修了した学生には大学から副専攻修了証を授与します。

#### ▶ GLAP: Global Liberal Arts Program (グローバル・リベラルアーツプログラム)

リベラルアーツ教育を基盤とし、英語による授業科目のみで学士の学位を取得できるコースを新たに設置します。教育体系・手法の抜本的な国際標準化を行います。入学時点で専攻分野を細かく定めず、入学後は外国人留学生と共に学びます。プログラムには1年間の海外留学が組み込まれており、留学前にはチュートリアル教育を行い、また外国人留学生と一緒に寮で生活します。

#### ▶ 「新しい」リーダーシップ教育

2006年度に経営学部で開始した「ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)」や、2013年度からの全学共通カリキュラム科目「グローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)」での実績を生かし、立教大学オリジナルのアクティブ・ラーニング手法によるリーダーシップ教育を行います。

#### ▶ 国際連携大学院プログラム

インドネシアをはじめとするASEAN、中東およびアフリカ諸国からの外国人留学生などを対象に、英語のみで修了できる国際連携大学院プログラムを開設・展開します。

### 〈グローバル教養副専攻とGLAPの展開を軸とした教育改革(横軸と縦軸の改革)〉



### 3. 育成する人材像

## 「専門性に立つグローバル教養人」の育成

立教大学では、「専門性に立つグローバル教養人」の育成を目指しています。それは、グローバルな課題と社会的要請に対応し、広い視野に立つ課題を発見・解決できる能力を持つ人材です。リベラルアーツ教育を基盤とし、立教大学が独自に開発した「新しい」リーダーシップ教育を全学的に展開することにより、「自ら考え(=思考力)、行動し(=変革力)、世界と共に生きる(=共感・協働力)」ことのできる「新しい」グローバルリーダーを輩出していきます。

### 国際化に対応した入試制度の導入

立教大学の志願者は毎年6~7万人程度。本学の取り組みが、10年間で60~70万人の志願者にも少なからぬインパクトを与えることになり、中学校や高等学校などの中等教育機関の国際化にも貢献します。

## 専門性に立つグローバル教養人

欧米のリベラルアーツ大学との対話を通じた世界水準の教育システムを構築しながら、日本の大学の国際化を牽引する先進的な取り組みに挑戦し、高等教育の国際化に貢献します。

### 変革力

人、情報、文化、価値観などが国境を越えて流動化している社会に柔軟に対応し、新しい仕組みを生み出していく力を養います。

豊かな  
創造性

高い  
協働性

社会を導く  
自立性

### 共感・協働力

豊かなコミュニケーション力を基礎とし、異なる文化・習慣を持つ人々と共に課題を解決していく力を養います。

### 思考力

環境問題、民族・宗教紛争などの地球規模の困難な課題に正面から向き合い問題の本質を論理的に解明する力を養います。

### 「自ら考え、行動し、世界と共に生きる」新しいグローバルリーダーの輩出

全ての卒業生が社会全体のグローバル化に貢献します。  
その数は10年間で約4万人、うち2万人の女性グローバルリーダーを社会に送り出すことになります。

# Rikkyo Global 24

24 Projects for 2024

## 立教大学国際化戦略 24の取り組み

「専門性に立つグローバル教養人」を育成し、国際社会に貢献できる大学を目指す立教大学は、国際化ビジョンを実現するために4つの分野で目標を設定し、2024年の創立150周年に向けて国際化を推進していきます。2014年5月に公表した「Rikkyo Global 24」は、その目標を達成するために取り組んでいる24のプロジェクトの総称です。①海外への学生派遣の拡大、②外国人留学生の受け入れの拡大、③教育・研究環境の整備、④国際化推進ガバナンスの強化という4つの分野にそれぞれ6つのプロジェクトがあり、目標を設定しています。

「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された「グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力×世界で際立つ大学への改革」の構想は、これら一つ一つのプロジェクトの積み重ねの上に策定され、実現していくものです。また、スーパーグローバル大学構想の一部を「Rikkyo Global 24」に盛り込みました。社会が大きく変わるこれからの10年に向け、立教大学はこれらの指標・目標を着実に達成し、全学一丸となって国際化を推進していきます。

### 海外への学生派遣の拡大

[PROJECT 1-6]

>>> これからの立教大学では  
海外留学、海外インターンシップ、海外ボランティアなどの海外体験を、大学での学びに不可欠な要素と位置付け、多種多様なプログラムを展開していきます。異なる文化、環境に触れる体験でこそ得られる感覚を重視します。

### 外国人留学生の受け入れの拡大

[PROJECT 7-12]

>>> これからの立教大学では  
英語のみで学位が取れる学部や大学院を拡充し、多くの学生が外国人留学生と共に学ぶようになります。また、立教大学に在籍しながら海外の大学の学位も修得できるように。キャンパス自体がグローバル社会になります。



### 教育・研究環境の整備

[PROJECT 13-18]

>>> これからの立教大学では  
語学力、費用面、時期など、海外留学や海外研修に参加するための支援体制を強化します。語学の授業を充実させ、海外の協定大学を増やし、奨学金制度も拡充。4学期制を導入し、全ての学生が海外を経験できる環境を整備します。

### 国際化推進ガバナンスの強化

[PROJECT 19-24]

>>> これからの立教大学では  
外国籍や海外経験が豊富な教職員を増やしていきます。国際連携・国際交流を推進するための組織を改革し、設備も拡充します。国際化に対応した入試改革を行い、教育界にとどまらず、地域社会や産業界への影響力を高めていきます。

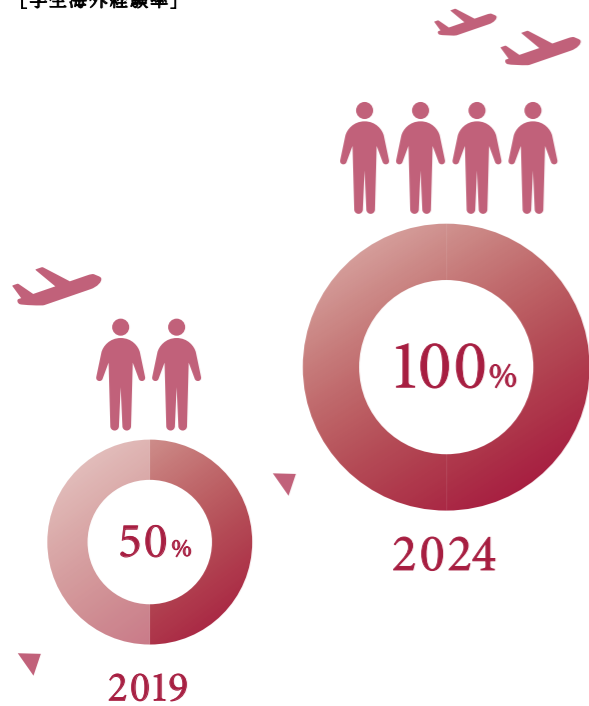
# 海外への学生派遣の拡大

## PROJECT 01

### 全学生を海外へ 5年後50%、10年後100%の学生が 海外を経験

「自ら考え、行動し、世界と共に生きる」新しいグローバルリーダーを輩出していくために学生の海外派遣を促進します。留学・海外研修プログラムの充実、奨学金制度の拡充、渡航前・渡航後の支援体制の強化などを通じて、5年後の2019年度には卒業までに50%の学生が、10年後の2024年度には原則として全ての学生が、海外を経験して卒業することを目標とします。

[学生海外経験率]



## PROJECT 02

### 5年後は学生の50%がTOEIC®730点以上、 100%が600点以上

2010年度より全学部の1年次生全員が履修する1クラス8名程度の「英語ディスカッション」科目を展開しています。また、学生の英語力の伸長度をTOEIC®テストで測定。5年後に学生の50%以上がTOEIC®730点相当以上、100%がTOEIC®600点相当以上の英語力を有することを目標とします。

## PROJECT 03

### 学部・学科の全学生が 海外研修に参加するカリキュラム

経営学部国際経営学科と異文化コミュニケーション学部では、原則として学生全員が海外研修に参加するカリキュラムを展開しています。今後開設予定のGLAPでも1年間の海外留学を必須とする計画です。そのほか、全学生を対象とした短期海外派遣プログラムもさらに拡充していきます。

## PROJECT 04

### 国際サービスラーニングプログラムの拡充

国連ボランティア計画 (UN Volunteers) との連携プログラムである「国連ユースボランティア」への学生派遣や、アメリカのスタンフォード大学の学生と共に学ぶ「陸前高田プログラム」を実施します。今後は、世界につながる聖公会 (英国国教会系キリスト教) のネットワーク (P9参照) を生かし、海外の大学などとの国際サービスラーニングも行っていきます。

## PROJECT 05

### 海外インターンシップの拡充

グローバル教育センターが中心となり海外インターンシッププログラムを実施しています。2014年度は、中国・台湾・ドイツにある企業7社と提携し学生を派遣。今後も順次派遣先を拡充していきます。

## PROJECT 06

### 日本人学生と留学生が集う グローバルラウンジを整備

2014年、池袋と新座の両キャンパスにグローバルラウンジを整備しました。留学アドバイザーを配置し、留学を希望する学生、国際交流に関心のある学生および海外からの留学生が共に集い、共に学び合う場を創出していきます。そして学生の日常的な異文化交流を促進するとともに、海外留学に向けた支援の場とします。



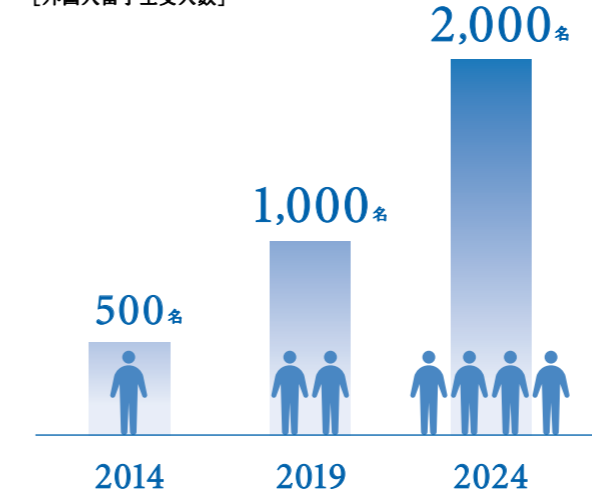
# 外国人留学生の受け入れの拡大

## PROJECT 07

### 2,000名を超える留学生が学ぶ グローバルなキャンパスを実現

立教大学には、現在約500名の外国人留学生在籍しています。これを、2019年度には1,000名へ倍増させ、2024年度には2,000名へとさらに倍増させることを目標とします。これによってキャンパスのグローバル化を促進し、学生は日本にいながらにして多様な文化、言語に触れることができます。

[外国人留学生受入数]



## PROJECT 08

### 海外の大学との提携により、 ダブル・ディグリー (DD)、ジョイント・ディグリー (JD) などの教育プログラムを共同開発

経営学研究科国際経営学専攻 (MIB) では、フランスのルーアン経営大学とDDプログラムを展開しています。さらにアメリカのノースイースタン大学、ノースカロライナ大学とも海外インターンシップやDDまたはJDプログラムなどを共同開発中です。

## PROJECT 09

### 国際機関拠出奨学金による 大学院留学生受け入れ

国際機関の拠出による奨学金により、インドネシアをはじめとするASEAN各国や中東などのアジア諸国、アフリカ諸国から大学院留学生を受け入れます。その実現のために、英語によるプログラムを開発し、より学びやすい環境を整えていきます。

## PROJECT 10

### 英語教授法を専攻する大学院留学生受け入れ

英語圏の大学で英語教授法を専攻している大学院学生を留学生として積極的に受け入れます。本学で研鑽を積み、同時に、学部の英語教育に携わる機会を提供することで実践的な教育力を育成します。

ENGLISH



## PROJECT 11

### 英語による学位授与コースの開設

経営学研究科国際経営学専攻 (MIB) では、全ての科目を英語で開講しています。今後は全学的に英語で受講できる科目を増やすとともに、大学院だけでなく、異文化コミュニケーション学部やGLAPなど学部レベルでも英語による学位授与コースを開設していきます。

## PROJECT 12

### 日本語および日本に関する科目などの充実

日本語教育センターでは、留学生を対象に、9段階に分かれたきめ細かい日本語教育を展開しています。日本語学習経験が全くない留学生に対しても、日本文化や日本語のさまざまな側面について学ぶ機会をさらに充実させていきます。





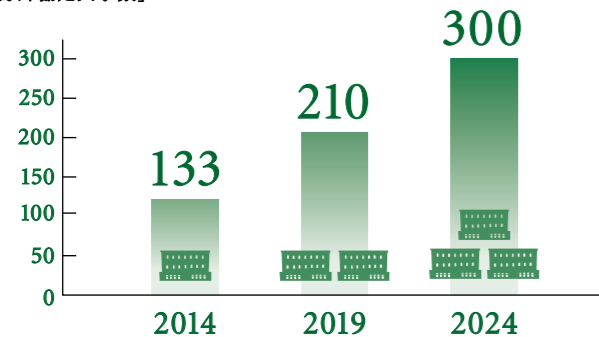
# 教育・研究環境の整備

## PROJECT 13

### 海外協定大学を 133大学から300大学へ

2014年度現在、協定を結んでいる大学は133大学です。これを5年後までには210大学に、10年後には300大学に拡大します。また、聖公会(英国国教会系キリスト教)のネットワークを生かし、アメリカのサウス大学など海外のリベラルアーツカレッジや大学などとの連携をさらに進め、リベラルアーツ教育を掲げる世界水準の大学としての地位を確立します。

[海外協定大学数]



## PROJECT 14

### 海外拠点の設置

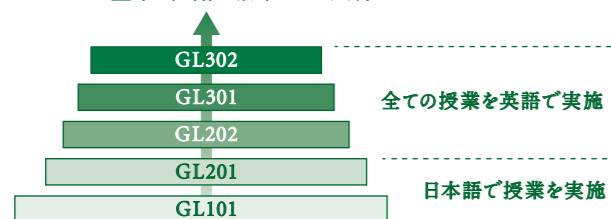
2014年に韓国事務所(ソウル)、ロンドン事務所、ニューヨーク事務所と3カ所の海外拠点を設置。今後、ASEAN事務所と中国事務所を開設します。各拠点を通じて立教大学の広報活動を行いながら、現地大学や企業などとの関係構築・強化を展開します。

## PROJECT 15

### 「グローバル・リーダーシップ・プログラム(立教 GLP)」

全学共通カリキュラムの中で、英語教育と並んで重視されるリーダーシップ教育の核となるのが立教 GLPです。グループワークとプロジェクト型学習を通じ、「チームを活性化させ、周囲を巻き込んでいくリーダーシップスキル」を涵養。グローバル企業・組織で活躍できる人材を育成します。

グローバル企業・組織で活躍できる人材へ!!



## PROJECT 16

### 「国際協力人材」育成プログラムの推進

明治大学、国際大学と連携して、全て英語による共同教育プログラムを展開しています。このプログラムは、2012年度の文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、2015年度までに100名の修了者を輩出する予定です。

## PROJECT 17

### 留学生支援環境の整備

2014年度より経営学研究科経営学専攻および国際経営学専攻(MIB)、異文化コミュニケーション研究科言語科学専攻の3専攻で「秋入学制度」を導入しました。このほか、海外からも利用できるWeb出願システムの構築、外国人留学生のための奨学金制度の拡充、外国人留学生のための就職情報の提供や相談体制も整備していきます。

## PROJECT 18

### 科目ナンバリング制度・4学期制・GPA 制度の導入

原則として全ての開講科目について、海外の大学との接続(分野やレベルなどにおいて)を意識したナンバリング制度を導入します。これにより、学生が留学先で修得した科目との関係が明確になり、帰国後に学ぶべき科目選択を的確に行うことが可能となります。また、2016年度から全学で4学期制を導入し、全学生が海外に留学しやすくなるに加え、海外からも留学生や教員をスムーズに受け入れることができるようになります。さらに、2016年度からはGPA制度を全学部で導入します。



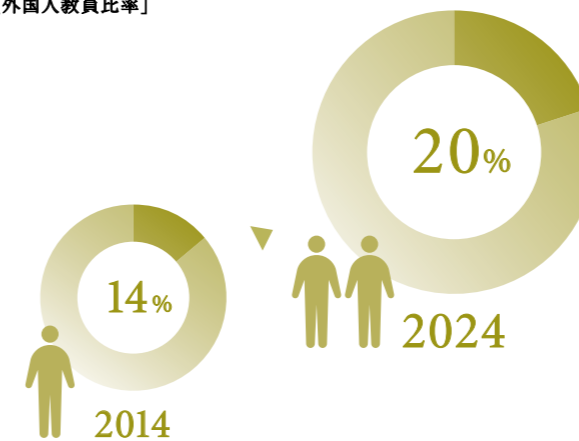
# 国際化推進ガバナンスの強化

## PROJECT 19

### 外国人教員比率を20%に

2014年度現在14%の外国人教員比率を、10年後の2024年度には20%に引き上げます。また、外国人教員、外国での学位取得者、外国大学での講義・研究歴(1年以上)を有する教員の比率を10年後には70%にします。そのために、国際競争力のある環境の整備を進め、海外の著名な研究者を招聘していきます。

[外国人教員比率]



## PROJECT 20

### 総長のリーダーシップによる 国際化推進のためのガバナンスを強化

総長のリーダーシップによる国際化推進のガバナンスを強化します。総長のスピーディーな意思決定をサポートする体制を強化するため、2015年4月に国際化推進機構を設置し、国際化施策をこれまで以上に迅速かつ確実に実施していきます。また、2024年の創立150周年に向けた大学の中期計画の中でも国際化戦略を中核戦略と位置付け、全学が一体となって国際化を推進する体制を整えていきます。

## PROJECT 21

### グローバル人材としての素養を持つ 学生受け入れのための入試改革

2016年度から一般入試の全学部日程においてIELTS、TOEFL iBT®、TEAP、GTEC CBTなどの外部試験を新たに活用します。さらに、国際バカロレア認定校や、スーパーグローバルハイスクールなどと連携し、グローバル人材としての素養を持つ学生を積極的に受け入れていきます。

## PROJECT 22

### 国際交流寮の拡充

キャンパス近隣に3つの国際交流寮(全334室)を設置しており、現在約100名の外国人留学生と共同生活しています。今後も国際交流寮を新設・拡充し、留学生と日本人学生との交流を促進していきます。

## PROJECT 23

### 職員の国際化対応力の強化

海外大学における実践的トレーニングなどの職員能力開発制度を拡充し、外国人留学生や外国人教員に対応できる国際感覚と英語力を身に付けた職員を育成していきます。そして、2019年度までにTOEIC®730点以上を有する専任職員の比率を20%以上にします。

## PROJECT 24

### グローバル企業や国際的な機関による外部評価

グローバル企業経営者や、国際的な機関の幹部、海外のリベラルアーツカレッジの教員らによる外部評価を導入し、世界水準の学位プログラムを目指します。





## 聖公会\*のネットワークを生かした国際連携

アメリカ聖公会の宣教師、チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が東京築地の外国人居留地に聖書と英学を教える私塾を開いたのは1874年のことです。「語学力」と「リベラルアーツ教育」を重視し、世界全体が激しく変動する時代に社会を支える国際人を育てることが、当初から立教大学の教育理念でした。

今後は世界に広がっている聖公会のネットワークを生かした連携をより一層強めていきます。2014年に設置した韓国事務所(ソウル)、ロンドン事務所、ニューヨーク事務所はいずれも聖公会の施設内に設けられています。また、ASEAN事務所と中国事務所の開設を予定しており、世界の有力なリベラルアーツカレッジや大学との関係構築・強化を進めていきます。

世界の聖公会に連なる高等教育機関のネットワーク(世界聖公会大学連合会:CUAC)に加盟している大学は120以上あり、立教大学が国際化していくにあたって、大きなサポートとなります。

\*聖公会:英国国教会にルーツをもつキリスト教会

## International collaboration making the most of the Anglican Communion network

It was 1874 when Bishop Channing Moore Williams, a missionary of the American Episcopal Church, established a private school in a place where foreigners lived in the Tsukiji area of Tokyo to teach the Bible and English. That was the start of Rikkyo University. Since the beginning, Rikkyo University's educational philosophy was to focus on language skills and liberal arts education, and nurture globally-minded persons who can support society in an era when the whole world undergoes radical change.

Rikkyo University will continue to strengthen collaboration making the most of the Anglican/Episcopal Church network that spreads throughout the world. Offices in South Korea (Seoul), London, and New York were established in the facilities of the Anglican Church. Going forward, we are planning to establish offices in China and one of the ASEAN nations, and we will continue to promote to build and strengthen relationships with the leading liberal arts colleges and universities in the world.

There are more than 120 institutions of higher education connected to the Colleges and Universities of the Anglican Communion (CUAC) throughout the world, and they will be a great support as Rikkyo University moves toward internationalization.



# Rikkyo Top Global University Conception

Global Liberal Arts Education

Leadership Education

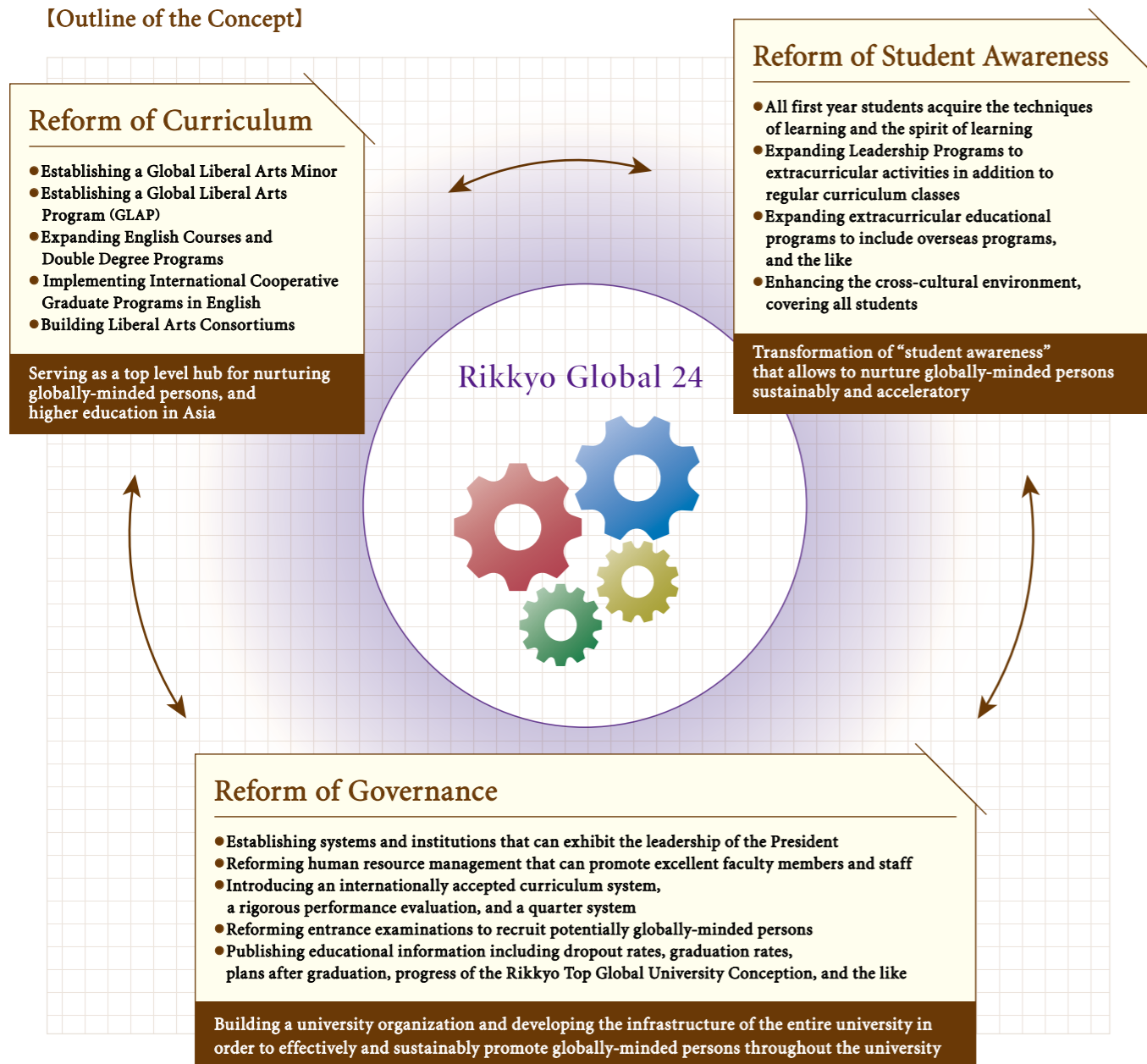
Self-Transformation

— The Evolution of Rikkyo as a World-Class University —

Rikkyo University was selected by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (MEXT) as the “Top Global University Project (Global Traction Type).” “Top Global University Project” starts from 2014, with the goal of enhancing the international compatibility and competitiveness of higher education in Japan, by supporting universities executing decisive reforms and thorough internationalization.

Working to further enhance and promote our unique initiatives including advanced leadership education and liberal arts education spanning more than 140 years, Rikkyo University aims to create a university with self-transformational force, which is evolutionary and creative, and leads other universities by building a world-class educational system through dialogue with liberal arts universities in Europe and the USA.

## 【Outline of the Concept】



The contents of this brochure are updated as of 2014 when the Rikkyo Global 24 Concept was announced.  
本リーフレットPDFは、構想発表当時（2014年）のものです。

## 【Outline of Reform of Curriculum】

### New Educational Program to start

### Leading Edge Global Education centered on the GLAP and Global Liberal Arts Minor

#### ▶ Rikkyo University Integrated Undergraduate Programs

Rikkyo University will launch a new education curriculum from 2016. This captures all aspects of student life as a process of character formation, and organically ties together liberal arts subjects, specialized subjects and extracurricular activities and reinvents them as a modern representation of the liberal arts. In this way Rikkyo University will cultivate people who combine humanity with specialized knowledge.

#### ▶ Global Liberal Arts Minor

In order to acquire the ability to capture things from multiple angles, Rikkyo University will establish Global Liberal Arts Minor Programs that students from all ten undergraduate colleges can take. Students can choose from among a broad range of courses that will be offered mainly in English, earning at least 16 credits in four years. Each course will include short-term and medium-term overseas programs, and upon completion of the program students will be awarded a certificate by the university for earning their minor.

#### ▶ Global Liberal Arts Program (GLAP)

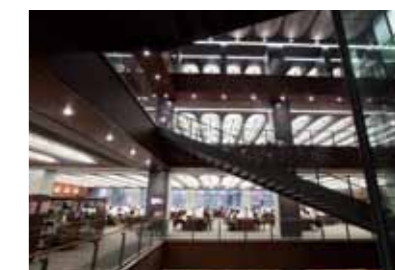
Rikkyo University will establish a new degree program whereby bachelor’s degrees can be obtained by taking only classes offered in English. The program is based on a liberal arts education. Rikkyo University’s educational systems and methods are to be significantly changed to make them internationally-standardized. Upon entering as undergraduates, students in this program do not select any specific fields of study, and study together with international students who are studying at Rikkyo. The program includes a year of study abroad, and students receive tutorial education before their own year of study abroad in addition to living with international students at one of Rikkyo University’s dormitories.

#### ▶ New Leadership Education

Drawing on the achievements in the Business Leadership Program (BLP) launched in the College of Business in 2006, and the Global Leadership Program (Rikkyo GLP) that has been run throughout the university since 2013, Rikkyo University will conduct leadership education using the original Rikkyo Active Learning Method.

#### ▶ International Cooperative Graduate Programs

Rikkyo University will establish international cooperative graduate programs that can be completed entirely in English, targeting international students from African countries and the Middle East, as well as ASEAN nations, such as Indonesia.



## Globally aspiring Individuals with Liberal Arts Skills and Knowledge

At Rikkyo University, we aim to cultivate Globally aspired Individuals with Liberal Arts Skills and Knowledge. These are people who can respond to global challenges and social demands, and have an ability to view things in an open-minded way while finding and solving problems. Rikkyo University aims to produce new global leaders who can, based on a liberal arts education, “think (capability to think) and act (capability to transform) independently, and live in harmony with the world (capability for empathy and collaboration)” by introducing across the university a new leadership education program developed originally by Rikkyo University.

### Introduction of Entrance Examination System that answers the Needs of Internationalization

Rikkyo University will have a considerable impact on 600 to 700 thousand applicants over a ten-year period, and we will contribute to the internationalization of secondary education institutions such as middle schools and high schools as well.

## Globally aspired Individuals with Liberal Arts Skills and Knowledge

While building a world-class educational system through interaction with liberal arts universities in Europe and the USA, Rikkyo University will engage in leading edge activities driving internationalization at universities in Japan and contribute to the internationalization of higher education.

### The Capability to Transform

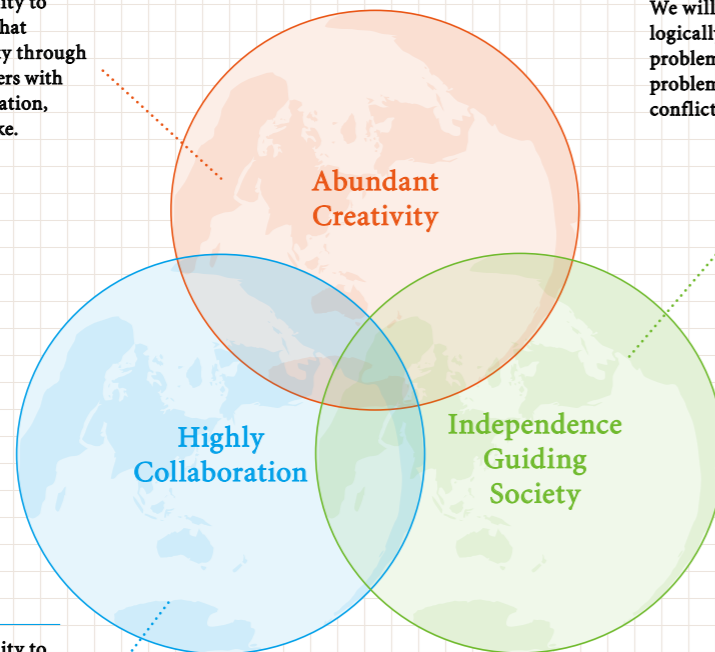
We will cultivate the ability to create new mechanisms that respond flexibly to society through fluidization beyond borders with respect to people, information, culture, values, and the like.

### The Capability to Think

We will cultivate the ability to logically tackle head-on difficult problems such as environmental problems and ethnic and religious conflicts.

### The Capability for Empathy and Collaboration

We will cultivate the ability to solve problems together with people who have different customs and cultures, based on the foundation of excellent communication skills.



### Producing New Global Leaders who can “think and act independently, and live in harmony with the world”

All of the graduates of Rikkyo University will contribute to the internationalization of the entire society. The number of such graduates will be 40,000 in ten years, among whom 20,000 will be women.

# Rikkyo Global 24

24 Projects for 2024

## Rikkyo University Internationalization Strategy

Rikkyo University—which strives to be a university that contributes to international community through cultivating Globally aspired Individuals with Liberal Arts Skills and Knowledge—set targets in four areas in order to achieve the vision for promoting international advancement, and promotes internationalization toward the 150th anniversary in 2024.

“Rikkyo Global 24” announced in May 2014 is a general name for the 24 projects that Rikkyo University is engaging in to achieve that goal. There are six projects in each of four areas—(1) Increasing Study Abroad Placements, (2) Expanding the Number of International Students, (3) Improving our Education and Research Environment, and (4) Strengthening Governance for International Advancement—and the objectives are set. The concept of the “Global Liberal Arts Education -Leadership Education - Self-Transformation: The Evolution of Rikkyo as a World-Class University” that was adopted this time as one of the “Top Global University Project” is being developed through accumulating these projects one by one. In addition, we have incorporated part of the Top Global University Conception into “Rikkyo Global 24”. Rikkyo University will continue to work together as one to promote internationalization and steadily achieve these targets and indicators in the next ten years in which society will change dramatically.

### Increasing Study Abroad Placements

[PROJECTS 1-6]



### Expanding the Number of International Students

[PROJECTS 7-12]



### Improving our Education and Research Environment

[PROJECTS 13-18]



### Strengthening Governance for International Advancement

[PROJECTS 19-24]



for 2024





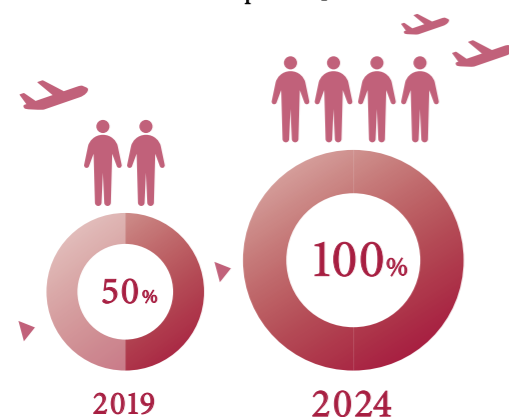
## Increasing Study Abroad Placements

### PROJECT 01

#### All students to go abroad: 50% to have overseas experience in 5 years, 100% in 10 years

In order to produce new global leaders who can “think and act independently, and live in harmony with the world,” Rikkyo University encourages students to study abroad by measures such as enhancing overseas study programs, extending scholarship system, and reinforcing pre-and post-overseas study support system. Rikkyo University’s target for 2019 is for 50% of its students to have had overseas experience by the time they graduate. Furthermore, we expect this number to reach 100% in 10 years, by 2024.

[Rate of students with overseas experience]



### PROJECT 02

#### 50% of students to score 730+ in TOEIC® in 5 years, 100% to score 600+

Rikkyo University’s goal for the next five years is for at least 50% of students to have English proficiency roughly equivalent to 730 points or more, and for all students to possess proficiency equivalent to 600 points or more by five years from now.

\*TOEIC®: Test of English for International Communication

### PROJECT 03

#### Overseas training program for all undergraduate students

Currently, the College of Business, Department of Global Business and the College of Intercultural Communication have curriculum involving overseas training for all students. Also in the Global Liberal Arts Program (GLAP) that is scheduled to launch in the future, the plan is to set a mandatory period of one year’s study abroad. In addition, Rikkyo University will further expand short-term study abroad programs for all students.

### PROJECT 04

#### Expansion of International Service-Learning Programs

Rikkyo University arranges placements for its students as UN Youth Volunteers and are implementing a Rikuzentakata Program with Stanford University (USA) students. In the future, we will engage in joint development of international service-learning with overseas universities and others by utilizing our Anglican Communion network overseas (see p.9).

### PROJECT 05

#### Enhancement of overseas internships

The Center for Global Human Resource Development has started overseas internship programs. In 2014, Rikkyo University placed students in seven partner companies in China, Taiwan, and Germany. We will steadily increase the number of placement sites in future.

### PROJECT 06

#### Global Lounge for Japanese and international students

In 2014, Rikkyo University established Global Lounge at both Ikebukuro and Niiza Campus. Staffed with overseas study advisors, these spaces are intended for students hoping to study abroad, students interested in international exchange, and for interaction between Japanese and international students wishing to learn from each other. The Global Lounge also encourages everyday cross-cultural exchange.



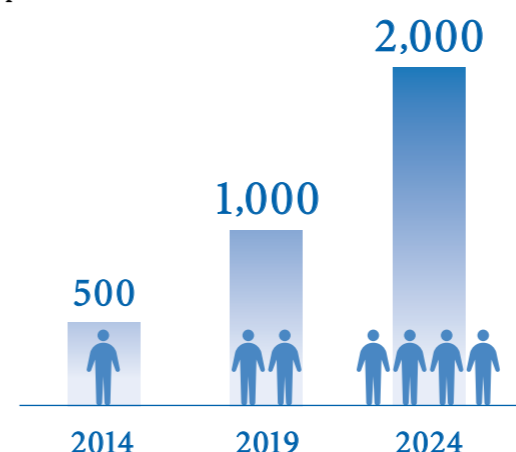
## Expanding the Number of International Students

### PROJECT 07

#### Creation of global campus with 2,000+ international students

There are currently about 500 international students enrolled at Rikkyo University. Rikkyo University’s goal is to double this figure by 2019 to 1,000 students, and then double this again by 2024 to 2,000 students. In this way, we are promoting the internationalization of our campuses, which will bring our students into contact with a diversity of languages and cultures while still being in Japan.

[Upward trend in the number of international students]



### PROJECT 08

#### Developing double degrees (DD) and joint degree (JD) programs by partnering with overseas universities

In the Graduate School of Business Master of International Business (MIB) program, Rikkyo University has created a double degree program with Rouen Business School in France. We are also currently developing overseas internships and double degree or joint degree programs with Northeastern University and University of North Carolina (USA).

### PROJECT 09

#### Accepting international graduate students on international organization scholarships

Rikkyo University will accept international graduate students from ASEAN nations such as Indonesia, other Asian countries including the Middle East and African countries through scholarships funded by international organizations. For this purpose, we will develop English-language based degree programs and an even more comfortable study environment.

### PROJECT 10

#### Accepting graduate students majoring in TESL/TEFL

Rikkyo University actively recruits graduate students who are majoring in English language teaching at universities in the English-speaking world to come and study. While continuing their teacher training with us, they also cultivate their practical education skills by taking the opportunity to engage in English teaching in our colleges.

### PROJECT 11

#### Degree courses offered in English

In the Graduate School of Business MIB program, all subjects are taught in English. In the future, Rikkyo University will increase the subjects throughout the university that are taught in English, and launch English-taught degree courses not only at graduate level but also at undergraduate level, such as in College of Intercultural Communication and GLAP.

### PROJECT 12

#### Enhancement of courses on Japan and Japanese language

Rikkyo University’s Center for Japanese Language Education has developed Japanese language courses divided into nine levels aimed at international students. Furthermore, Rikkyo University plans to increase the opportunities for international students with no experience of learning Japanese to study various aspects of Japanese language and culture.





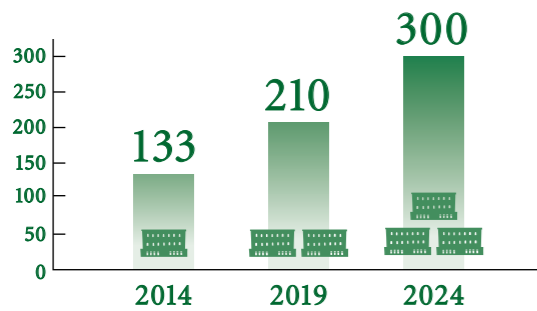
# Improving our Education and Research Environment

## PROJECT 13

### Increasing overseas partner institutions from 133 to 300

As of 2014, Rikkyo University has agreements with 133 universities. This number will be expanded to 210 in five years and 300 in ten years. Meanwhile, we are pursuing partnerships with overseas liberal arts colleges such as The University of the South (USA), CUAC, and others in order to establish our position as a world-class university offering a liberal arts education.

[Upward trend in overseas partner institutions]



## PROJECT 14

### Establishing overseas offices

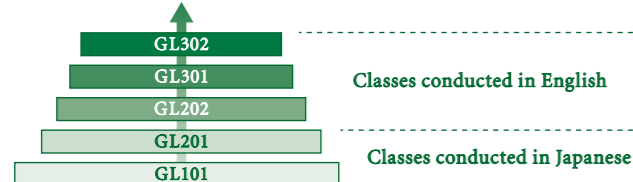
Rikkyo University has opened its South Korea (Seoul), London and New York office in 2014. In the future, we will open our ASEAN office and China office. Through these offices, Rikkyo University will conduct public relations activities while forming and strengthening ties with local universities, companies, and the like.

## PROJECT 15

### Global Leadership Program (Rikkyo GLP)

The Rikkyo GLP forms the core of Rikkyo University's leadership education, which values as highly as English education within the university-wide multi-disciplinary curriculum. Through group work and project-based learning, we foster leadership skills that will help students to draw in other people and work as a team. We will continue to cultivate human resources who can play an active role in global companies and organizations.

People who will succeed in global companies or organizations!



## PROJECT 16

### Promoting Human Resource Development Program for International Cooperation

Together with Meiji University and International University of Japan, Rikkyo University has developed a joint education program run completely in English. The program was recognized by MEXT in 2012 as a Program for Promoting Inter-University Collaborative Education and is on track to produce 100 graduates by 2015.

## PROJECT 17

### Improving international student support environment

Since 2014, a fall enrollment system has been introduced for three courses, the Master of Business and Master of International Business programs at the Graduate School of Business, and the Master's Program in Language Science at the Graduate School of Intercultural Communication. Rikkyo University will also set up an online system for applications from overseas, expand scholarship system for international students, and upgrade employment information and consulting system to make it even more foreigner-friendly.

## PROJECT 18

### Introduction of course numbering, quarter system, GPA system

Rikkyo University will introduce a numbering system for all subjects in accordance with their connection (area of study, level) to those of overseas universities. In 2016, we will also introduce a quarter system throughout the whole university, which will make it easier for all students to go abroad to study and for students and teachers from overseas more smoothly. Furthermore, we will implement a GPA system in all colleges in 2016.



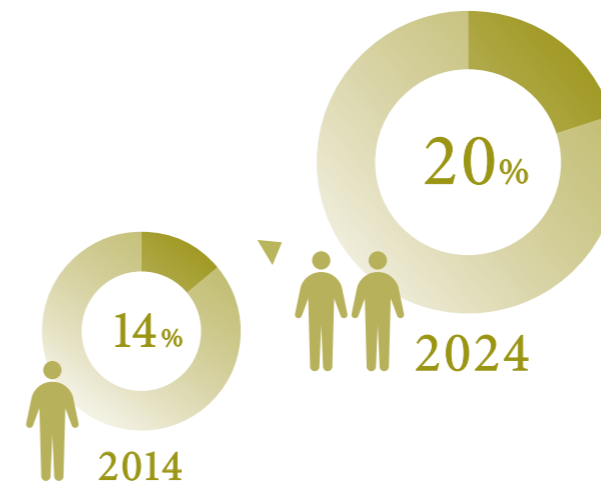
# Strengthening Governance for International Advancement

## PROJECT 19

### Proportion of foreign faculty members to rise to 20%

The proportion of foreign faculty members, which is 14% as of 2014, will be increased to 20% by 2024. To this end, Rikkyo University will invite prominent researchers from abroad by promoting establishment of an internationally competitive environment.

[Proportion of foreign faculty members]



## PROJECT 20

### Reinforced governance for promoting international advancement under President's leadership

Rikkyo University is strengthening the governance of its international advancement under the leadership of the President. To bolster its system that helps the President to make speedier decisions, Rikkyo University will establish an Organization for Global Initiatives in April 2015 to carry out internationalization measures more quickly and robustly than ever before.

## PROJECT 21

### Entrance exam reform suited to potentially globally-minded persons

Rikkyo University will collaborate with International Baccalaureate certified schools, and the like, in order to actively recruit potentially globally-minded persons.

## PROJECT 22

### Expansion of international dormitories

Rikkyo University has three well-equipped international dormitories near its campuses with a total of 334 rooms. We are also going to build new international dormitories, extend existing ones, and encourage interaction between international and Japanese students.

## PROJECT 23

### Reinforce staff skills in dealing with internationalization

Rikkyo University will expand its staff skills training system, including practical training at overseas universities, in order to develop staff with international sensibilities and English ability to be able to deal with international students and foreign faculty members. We will increase the proportion of full-time staff that have a TOEIC® score of 730 or more to 20% by 2019.

## PROJECT 24

### External evaluations by global companies and international organizations

As part of our aim to have a world-class degree program, Rikkyo University will introduce external evaluations by business executives of global companies, officials of international organizations, and faculty members at overseas liberal arts colleges.

